

## 道路ネットワークの充実

### ◆ 都市計画道路の整備

【道路建設課】

#### 1 事業の目的

都市間・地域間交通の円滑化や安全性・利便性を確保するため、都市の基盤となる街路網を整備する。

#### 2 事業概要

路線名	施工箇所	延長 (m)	幅員 (m)	事業期間
宇都宮水戸線(大寛)	大寛2丁目ほか	810	25	H9～H21
泉ヶ丘線	御幸町, 岩曾町ほか	1,049	16～32	H9～H24
鶴田宝木線	鶴田町ほか	780	18	H7～H23
産業通り(陽南)	陽南2丁目ほか	479	25	H14～H29
宇都宮日光線(一条)	一条3丁目ほか	696	18～19.5	H14～H31

#### 3 事業スケジュール

路線名	22年度事業内容	事業費 ベース 進捗率 (21年度末)
宇都宮水戸線(大寛)	事業事後評価	完了
泉ヶ丘線	土地使用料, JR線立体交差擁壁工事, 調整池工事, 雨水管築造工事, 用地買収, 物件補償 等	79.2%
鶴田宝木線	—	89.1%
産業通り(陽南)	用地買収, 物件補償 等	26.6%
宇都宮日光線(一条)	用地買収, 物件補償 等	18.1%

## ◆ スマート I C 設置事業

【道路建設課】

### 1 事業の目的

従来のインターチェンジに比べて低コストで導入できるスマート I C は、高速道路の利便性と地域間の連携が期待できることから、本市においても、交通ネットワークの充実や地域の活性化のため、スマート I C の導入を進める。

### 2 事業概要

平成 19 年 4 月 1 日から 24 時間ーフインター方式(上り線 E T C 入口・下り線 E T C 出口)で本格導入された上河内スマート I C において、フルインター化(上下線 E T C 出入口)に向け、接続道路の下り線を宇都宮市で、上り線を栃木県で整備を進めている。

また、新たなスマート I C の設置についても検討する。

#### ◇上河内スマート I C のフルインター化

- ・接続道路 : 市道 1 3 3 7 1 号線
- ・整備計画延長 : 4 5 0 m
- ・幅員 : 7. 5 m
- ・市事業費 : 2 2 2, 0 0 0 千円

内 容	整 備 前	整 備 後
運 用 形 態	ーフインター方式 上り線(東京方面) E T C 入口 下り線(福島方面) E T C 出口	フルインター方式 上下線 E T C 出入口
対 象 車 種	軽自動車, 普通乗用車, 二輪車	軽自動車, 普通乗用車, 二輪車 大型車
利 用 条 件	E T C の搭載車	
運 用 時 間	2 4 時間	

#### ◇新たなスマート I C 設置の検討

東北自動車道宇都宮 I C ~ 鹿沼 I C 間において新設の検討

### 3 事業スケジュール(上河内スマート I C)

平成 2 0 年度 用地買収・工事

平成 2 1 年度 工事, 事業完了

平成 2 2 年度 供用開始予定

## ◆ 宇都宮市道路見える化計画の推進

【土木管理課】

### 1 事業の目的

公共事業の透明性の確保，説明責任が求められる中，道路整備を計画的かつ効果的に行い，市民にわかりやすいみちづくりを目指すため，平成20年3月に策定した「宇都宮市道路見える化計画」に基づき，事業を推進する。

### 2 事業概要

本市の道路が抱える「事故」や「渋滞」等の課題について，「宇都宮市道路見える化計画」で抽出した移動性向上6箇所，安全性向上8箇所に対し有効な対策を講じ，課題解決を図る。

### 3 事業スケジュール

- |         |  |
|---------|--|
| 平成19年度  | ・計画策定（要対策箇所を抽出）  |
| 平成20年度  | ・「宇都宮市道路見える化計画推進懇談会」の設置<br>・陽南通り川田交差点の立体化（西原立体）の供用開始<br>⇒通過時間最大14分間短縮<br>・越戸通りほか 路線のカラー舗装化 など<br>⇒人身事故件数の減少            |
| 平成21年度  | ・宇都宮水戸線の供用開始<br>⇒移動時間の短縮，他路線の交通分散<br>・国道4号と平成通り交差点改良（左折専用レーンの設置）<br>⇒渋滞の緩和<br>・旧柳田街道ほか カラー舗装の拡充<br>・道路冠水危険箇所のアンダー対策 など |
| 平成22年度～ | ・対策箇所への対応<br>⇒市道544号線踏切改良<br>宇都宮文星女子高等学校通学路ほか カラー舗装の拡充 など  |